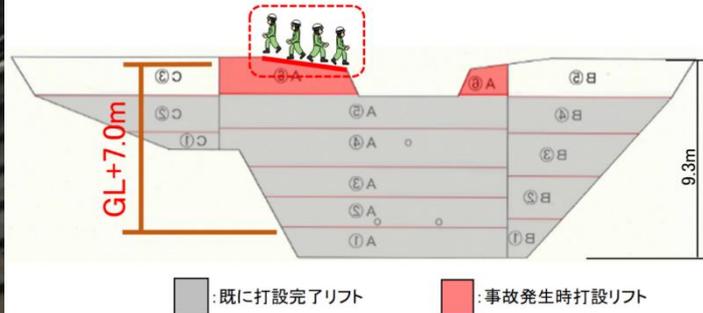


【令和5年9月19日事故発生】

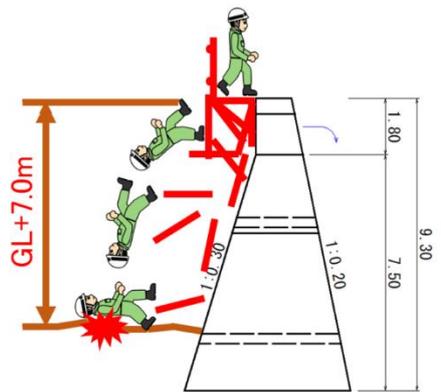
コンクリートの打設中に足場が外れて作業員4名が転落



谷止工正面図



谷止工断面図



事故概要

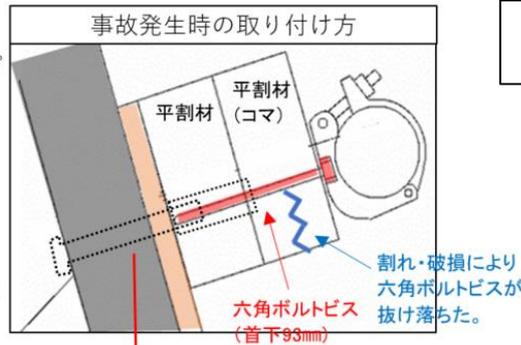
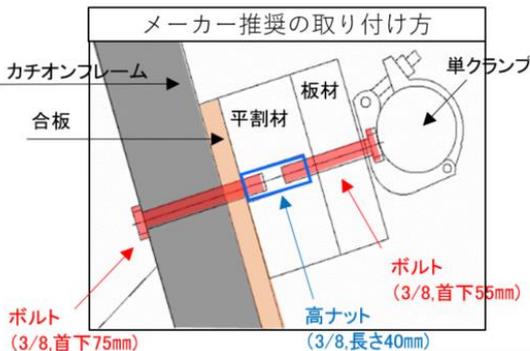
谷止工のコンクリート打設中、左岸上流側に設置していた張出し足場(キャットウォーク)の単クランプ固定部が破損し、高さ約7m下の河床に転落し、2名が骨折、他2名が打撲した。

事故原因

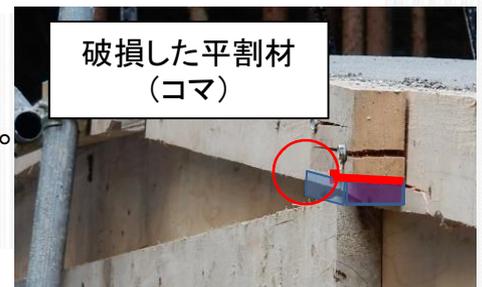
原因① 単クランプの取り付け方が不適切であった。

◇単クランプ固定箇所詳細図

※板、平割材(コマ)とは、単クランプ取付下地材(形状・寸法により名称が異なる)



カチオンフレームの穴を通した構造物中側からの固定がない



破損した平割材 (コマ)

抜け落ちた六角ボルトビス (首下93mm)と単クランプ



原因② 最大積載荷重の標識が非掲示であり、周知されていなかったため、最大積載荷重以上の荷重が載荷された。

原因③ 足場点検表の点検結果と実際の現場で相違がある等、点検がずさんであった。

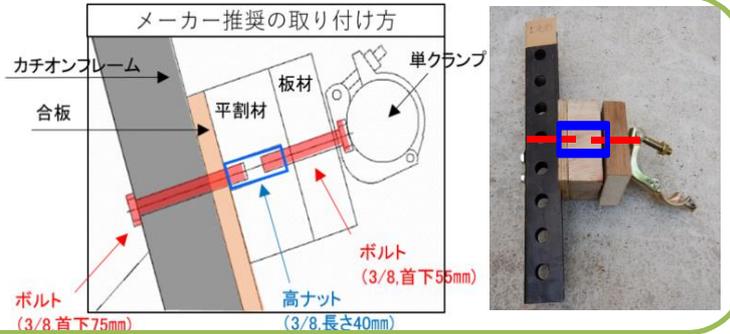
再発防止策

再発防止策①

単クランプの固定方法を見直し、メーカー推奨の以下の固定方法とする。
あるいは荷重計算し、安全を確認した方法で足場を設置し、周知徹底する。

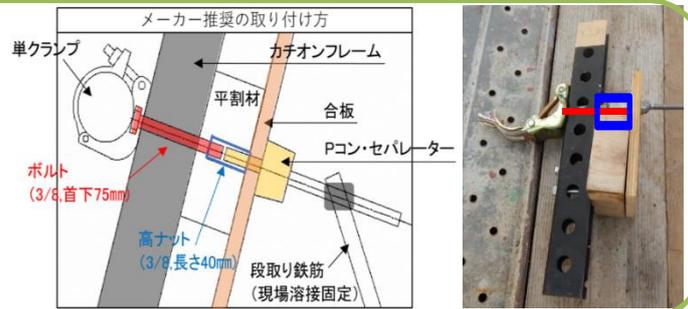
<上流側>(合板残存型枠工法)

- ・カチオンフレームの穴を使用して、平割材、板材をボルトとナットで締付ける。
- ・単クランプの取付間隔は1.8m以内とする。



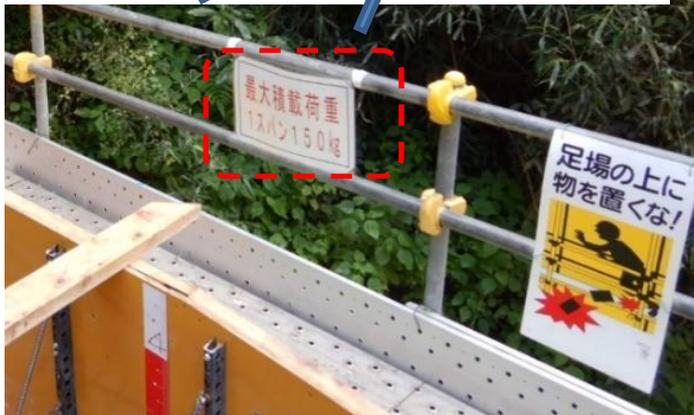
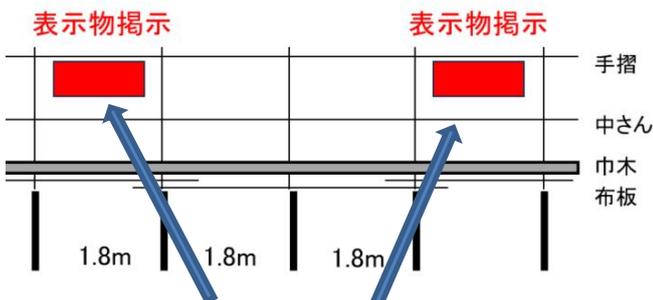
<下流側>(通常工法)

- ・カチオンフレームの穴を使用して、平割材、型枠固定用Pコンをボルトとナットで締付ける。
- ・単クランプの取付間隔は1.8m以内とする。



再発防止策②

足場使用者へ最大積載荷重が明確に伝わるように、3スパン毎に積載荷重表示「最大積載荷重1スパン150kg」を表示する。
また、主任技術者・元請職員(いずれも足場作業主任資格保有者)により足場上の作業状況を監視する。



足場点検表(キャットウォーク)

作業所名: _____ 現場管理責任者: _____
 点検者名: _____
 会社名: _____ 施工箇所: _____

再発防止策③

- ・点検のダブルチェック体制として、足場作業主任者点検終了後に結果を主任技術者が確認する。
- ・作業床(布板)の水平状態について点検項目に追加し徹底する。
- ・元請会社は、月1回実施していた店社パトロールを月2回実施とし、安全管理の徹底を図る。

落下物の保護の状況	(4) 著しい割れ、虫食等の腐食はない	
	(1) 巾木を取り付けているか	
	(2) 躯体側に落下物防護養生はあるか	
	(1) 積載荷重の表示はあるか	
その他	(2) 作業床(布板)は水平か	
	(3) 単クランプはボルトで取り付けているか	
	(4) ボルトは中心位置で取り付けているか	
点検者サイン		
主任技術者確認サイン		